



2021年5月11日

各位

会社名 日本高周波鋼業株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井 晃二
(コード番号 5476 東証第1部)
問合せ先 執行役員総務企画本部長 村越 久人
(TEL. 03-5687-6025)
当社の親会社 株式会社神戸製鋼所
代表者名 代表取締役社長 山口 貢
(コード番号 5406)

特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、本日公表の2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）連結決算において、特別損失として固定資産の減損損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

(1) 減損損失の発生の理由

2019年度以降、米中貿易摩擦による需要減退にコロナ影響も加わり、厳しい需要環境が続きまして、このため売上高が大きく減少し、大幅な営業赤字が続く結果となりました。こうした状況を踏まえて2020年度末で事業資産の評価を行い、固定資産の減損損失を計上することといたしました。

(2) 減損損失の計上金額とその内訳

(単位：百万円)

用途	金額
特殊鋼生産設備等	8,464

2. 業績に与える影響

業績への影響につきましては、本日公表の「2021年3月期 決算短信（連結）」をご参照ください。

3. 今後の施策

2022年3月期の黒字化に向けて収益改善施策を着実に推進いたします。また、減損による減価償却費の軽減効果もあり、2022年3月期の連結営業利益は7億円の見通しです。

以降につきましても22年3月期の取組みを深化し、収益の安定化を図る一方、保有資産の効率的活用等による財務体質の改善に向けた検討も進めてまいります。

尚、これらの施策に加え、本年6月の株主総会にて累損解消のための減資を提案する予定です。

以上